

白河第一小学校

1、地層の観察

(1) 観測する場所

南湖野球場より 100 m 奥のがけ



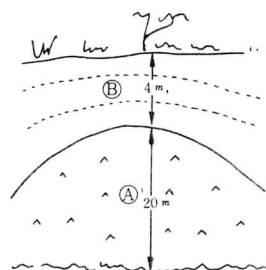
(2) がけから離れて地層全体を観察する。

① がけの地層が見通せる所からがけの全景をスケッチする。

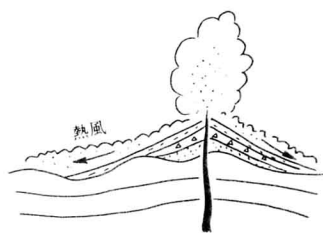
② 地層の重なり方に注意して地層を書き入れる。その際、地層の色や厚さ、層理や葉理など気付いたことを書き入れる。

③ この高台は、白っぽい①層の上に、雪がつもったように重なっている淡茶色の②層からできていることを理解する。

④ 白河市一帯では、白っぽい①層はどこでも見られます。この事から①層は広いひろがりをもって分布していることが理解できるでしょう。



(3) 地層に近づいて、その特徴を観察する。



①層に触ってみよう。表面は風化してくづれます。全体は白っぽい岩石で、中にすき透る粒が多く入っています。この粒は石英です。また、所によって淡黄色の粘土のような5 cm大のかたまりが入っています。これは軽石と呼ばれる火山砕せつ物で、ちょうどコークスのかけらのようなものです。